

# AF-CBT ワークショップ 2019のご案内

*Alternatives for Families: A Cognitive-Behavioral Therapy*

## 家族のための代替案：認知行動療法

謹啓 新緑の候、先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、カウンセリング研究所ではこのたび、AF-CBT ワークショップ 2019 を開催する運びとなりました。AF-CBT は、子どもへの身体的虐待や暴言などの問題を抱えた家族の回復のため、ピッツバーグ大学医学部の D.J.Kolko が開発したプログラムです。今回は、日本人トレーナー（申請中）による初のワークショップとなります。

トレーニング自体は、① 3日間のワークショップ、② 1年間の継続研修（11月より月1回実施）、③ アドバンス研修（半年後を目途に開催予定）からなる「1年間の学習プログラム」というスタイルで実施されます。参加を希望される方は、申込フォーム(<https://forms.gle/PJtPrLcMZhVsBIXP6/>)からお申し込みください。

ワークショップから始まる1年間、皆さまと学びあうことを楽しみにしております。皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。 謹白

### AF-CBT ワークショップ 2019 トレーナー（申請中）

犬塚 峰子（本学客員教授、AF-CBT Japan 代表）  
保科 保子（当研究所 相談員）



### AF-CBT 認定トレーナー

Meghan Shaver, MSW, LSW



日 程：2019年10月24日（木）～ 10月26日（土）

時 間：9:30-17:00（初日受付：9:00～）

会 場：大正大学 栄鴨校舎

参加費：60,000円

資料代：5,000円（セッションガイド代を含む）

\*お申込みいただいた後、参加費・資料代の振込先をご案内します

申込み：申込みフォームからお申込みください

※ 切：2019年7月25日（木）

\*ただし、定員に達し次第受付終了とさせていただきます

\*継続研修・アドバンス研修の詳細については別途ご案内いたします

### \*AF-CBT のご紹介\*

AF-CBT は、子どもへの身体的虐待や暴言などの問題を抱えた家族の回復のため、ピッツバーグ大学医学部の D.J.Kolko が開発したプログラムです。プログラムには、学習理論や行動理論、家族システム、認知療法、発達の被害者学など様々な観点から技法や理論が取り入れられ、養育者の不適切な関わりや対応を減らすとともに、虐待の影響による子ども側の情緒・行動上の問題の改善を図り、家庭が安全で、穏やかな場となることが目指されます。親子がともに参加するため、親と子、さらに親子関係のそれぞれに対して治療的な介入ができることが特徴です。なお AF-CBT は、NCTSN（米国子どもトラウマティック・ストレスネットワーク <http://www.nctsn.org/>）により、エビデンスに基づく治療法として推奨されています。

AF-CBT の詳細については、（日本）<http://afcbt-japan.org/>（米国）<http://www.afcbt.org/>をご参照ください。

大正大学カウンセリング研究所では、2012年11月、開発者である Kolko 博士の協力のもと、国内初のワークショップを開催しました。月1回の Web コンサルテーションでは AF-CBT 導入ケースについて、講師からの具体的な助言・指導を受けることを重ね、今回日本人トレーナーとしてワークショップを開催する運びとなりました。年々国内導入ケースも増えており、有効性を実感するという声が寄せられています。

### <AF-CBT ワークショップ事務局>

大正大学カウンセリング研究所

AF-CBT Japan 代表：犬塚峰子

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1

TEL：03-5394-3035/FAX：03-5394-3041